

広域避難とは

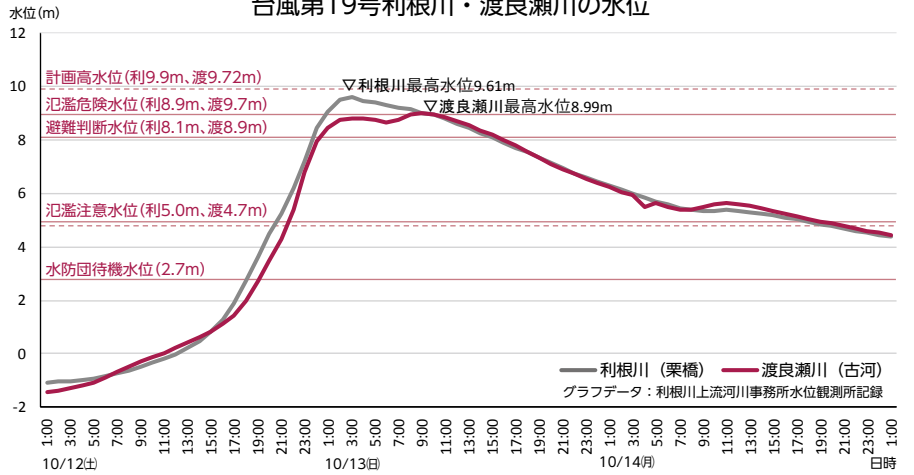
お住まいの地区を超えて、親戚や知人宅、市が指定する避難所などの安全な場所へ避難する方法。浸水深が深く、浸水が長期間継続する恐れがある北川辺地域、利根川から近く、洪水により被害の恐れのある大利根地域、樋遣川地区・大越地区において広域避難を最優先することとしています。



広域避難マップ(まずは広域避難)



台風第19号利根川・渡良瀬川の水位



▼浮かび上がった課題
 ▼避難情報の周知
 避難情報の周知は、防災行政無線やかぞホッとメール、ホームページやSNS、広報車や消防団による巡回などを通して行いましたが、市民の皆さんに十分伝わらず、不安を与えてしまいました。

▼避難情報発令のタイミング
 市では、利根川などの河川の水位に応じて、早めに避難情報を発令することとしています。当時、市内では200ミリメートル程度の雨量でしたが、利根川上流部では、多い箇所ので500ミリメートルを超え、利根川の水位が短時間のうちに急激に上昇したため、結果として、13日の午前1時と午前2時に避難指示を発令するこ

ととなりました。

▼避難所の開設・運営
 避難所を開設する市職員の不足や、広域避難先の避難所では、協定先自治体の協力をいただきましたが、急な開設となり、資機材や備蓄品が不足するなど、十分な準備が整わない避難所がありました。また、高齢者や障がいのある方などの災害時要援護者の受け入れや、トイレなどの設備面、ペットの受け入れの問題なども生じました。

▼避難スペースの不足
 騎西地域や加須地域西部の避難所では、広域避難者を誘導したため、避難スペースに不足が生じました。避難所や駐車場が満員・満車となり、ほかの避難所へ誘導する事態も生じました。

▼移動の手段・経路
 北川辺地域や大利根地域などから騎西地域への広域避難では、マイカーによる避難が多く、避難経路も限定されたため、埼玉大橋や県道加須鴻巣線などで渋滞が発生しました。埼玉大橋付近では、加須警察署により信号を手動に切り替えるなどしました。避難に多大な時間を要することとなりました。

■検証
 以上のような課題に対し、市では検証を進めており、自治協力団体などを通して、市民の皆さんにアンケートを行っていただきます。検証結果については、市の防災対策の根幹となる地域防災計画に反映し、広報紙などを通してお知らせします。

防災行政無線
 自動音声応答サービス
 【フリーダイヤル・無料】
 ☎ 0120-62-1934
 ※つながらない時はこちら(有料)へ
 0480-61-7173/0280-23-2222

かぞホッとメール
 kazo.anzen2@mpme.jp
 (安全安心情報)
 防災情報などをメールでお届けします。防災行政無線の内容も同時配信しています。
 ※登録無料、通信料は利用者負担

災害時の情報入手方法